**現場の週報から（令和3年8月2日～9月5日）**

**【8月2日～8月8日】**

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・三本木「ひまわりの丘」へ行ってきました。日差しも暑く、ひまわり一本一本が綺麗に咲いていました。利用されている方・職員共に、ひまわりを見ては「綺麗だねー」や「ひまわりも凄いけど、暑いぃー」など、一面に広がるひまわりを見て満足して頂けていたように感じます。

・夏野菜カレーを皆さんと一緒に作りました。出来上がったカレーを見て、お昼を待ち遠しくカレーを見つめておられる方など。利用されている皆さん全員と美味しく頬張りました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・七ヶ浜にあります「カフェラルナ」にお茶をしに行きました。潮風を感じながらのオープンカフェでのひと時「久しぶりに本当に楽しい！」と利用者さんも職員も笑顔の多い時間でした。注文したかき氷が想像以上に大きくて、皆さん大爆笑されていました。



■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・オリンピックの熱がさくらGHにもきました。手作りでアイスホッケーを作りオリンピックに負けじと開幕です。体操よりもゲームに盛り上がった一日。またご近所さんから枝豆のおすそ分け。ずんだモチが食べたいと希望があり。まずは頂いた枝豆でずんだ作りです。すいか割りもしてみようとなり、一気に夏を満喫しています。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・けやきの畑で収穫したミニトマトとナスを寒天で包み、そうめん上に盛り付けしみなさんといただきました。彩りも豊かになり、「寒天で包むと、また一味違って美味しいね～」とみなさん喜ばれておりました。

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・1階と２階に分けて小グループで三本木のひまわりを見にお出かけしています。猛暑のためあまり長時間は滞在しませんでしたが、ソフトクリームを食べながら夏の風物詩を堪能してきました。

■デイさービス悠々：梅村卓也さん

・2日、混ぜ寿司を作り皆さん自分で盛り付けしたりしております。少し遠慮する方もおりましたが、とても喜ばれておりました。3日、今週の夏の風物詩は、風鈴作りを行いました。自分の好きな色等選びながら作り、楽しまれました。5日、原ノ町本通りの七夕吹き流し観光に行きました。少しだけでしたが吹き流しが飾っており、以前原ノ町に住んでいた方が久しぶりに来てとても良かったと話されておりました。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・農業園芸センターへドライブに行きました。園芸センターではひまわりが綺麗に咲いていました。ヒマワリを観ながら、「夏だね。」、「きれいだね。」と感想を頂いております。今後も季節に合わせたドライブイベントをご利用者、職員と行っていきます。

■杜の家ゆめみ：佐藤貴彦さん

・誕生日を迎えたご利用者さんに、色紙をお渡しました。また、以前より食べたいと話されていたメニューを昼食やおやつに取り入れてお出ししています。「ありがとうございます。」と笑顔で話され、元気の秘訣は、「食べる事」と話されたり「よくわかりません」とも笑いながら話されたりもします。

■グループホームはごうの杜：名取直保美さん

・仙台七夕に合わせ、入居者さんと職員が共同して、七夕飾りを作成し、天井からつるしました。また8/8の夜に、頂いた線香花火を楽しまれました。「綺麗ね！」「楽しかった」と皆さん喜ばれていました。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・4日に1階ユニットでスイカ割を行いました。皆さん良い表情で大きなスイカを前にしていました。なかなかプラスチックのバットでは割れませんでしたが、その後包丁で切ったスイカをおいしく食べました。昼食時に1階では初めてのカップラーメの昼食にしました。好きなものを選んでいただきましたが、食欲が落ちていたツヤさんがミニサイズではなく、普通サイズのカップラーメンを選び、ラーメンをすする姿にスタッフみんなが驚きました。そして、2口目が1口目よりも量が多かったこと、さらにどんどん食べ進めていき、丼をもって汁もすすっていたことに感動しました。栄養をとることはもちろん大事ですが、楽しみとしての食事もこれから利用者さんと一緒に考えていきたいです。ゆづるの畑で育ったかぼちゃを２つ収穫しました。かぼちゃサラダやかぼちゃの煮物など、おいしくいただくことが出来ました。まだ成長途中のものが２つあるので、そちらの収穫も今から楽しみです。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週どうしても参加してほしいとお話しがあり、担当者会議に出席してきました。Mさんは94歳、独居の方で金銭管理はまもりーぶ、買い物や掃除、洗濯のお手伝いにヘルパーが入っています。最近、ヘルパーが買い物に行こうとお金を置いてある場所を確認すると、お金が無くなっている事が頻発しヘルパーがお金を立て替えて買い物をし、お金が回収できないというトラブルもあったようです。その為か「金銭管理が全くできてない。もう在宅は無理、入所を考えた方が良い」と話があり、本当にそれしか方法がないのか、本人の気持ちも確かめるため関係機関が集まりました。ご本人の隣に座らせて頂くと「俺のこと話してんの？何話してるかさっぱりわかんないんだ」と話される為、内容をお伝えしました。保護課の方より「Mさんが施設に行きたいとご希望されるのであれば、お手伝いします。だだ、行きたくないところに行けとは言いません。どうしたいですか？」と。「皆は出て行ってもらいたいと思ってるかもな。こんな年寄り。でも、ここに来て30年だよ。もうどこへも行けない。だってここが家だもの」しっかりとご自身の気持ちを伝えられていました。Mさんの気持ちを出席者全員が確認し、最後まで在宅で過ごすこととなりました。Mさんが望まれる在宅での生活をお手伝させて頂きたいと思います。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・8月初めに誕生日を迎える方が3人おられ、スタッフの計らいで色紙のプレゼント、ささやかな誕生会をしました。色紙の似顔絵は、絵の上手なKさんに依頼し「徹夜して描いた」と話されていました。プレゼントされた色紙を玄関に飾っておられたOさん、「自分で飾ったの」と奥さんが笑顔で話されていました。

・老健のTさんより感謝の書を頂きました。玄関に飾っております。Tさんにお礼を伝えると「感謝は当たり前のこと」と教えられることがありました。

・8日に「男の料理イベント」を行っております。今回は冷やし中華と餃子、スープを皆さんで作りました。もう3回目の料理教室。以前より皆さん手際も良くなり、12時過ぎて召し上がっていた昼食も12時には召しあがれるようになりました。また午後からはオリンピックを観る方、ドライブに行く方、将棋をされる方、と楽しまれたご様子です。



■グループホームはるかの杜：木村優さん

・青年会議所より頂いた線香花火、数日間にわけ入居者さんと楽しみました。少しでも笑顔になってもらいたいと率先し行動してくれた夜勤、遅番のスタッフさん達にも感謝です。

・8日、入居者さんの89歳の誕生日にご本人からリクエストがあったお寿司を注文し、昼食に皆さんでいただきました。ご本人さんは、もちろんみなさん喜ばれておりました。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・Kさんが8/1から週１日からの通いを開始しています。通いの初日、ご自分で作った貼り絵を持参して頂き、他のご利用者に見て頂いたり、お話したり笑顔が見られております。スタッフが間に入るなどして早く通いに慣れて頂くよう支援していければと思います。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・8日、三本木のひまわり丘にドライブに行ってきました。Yさんが久しぶりに出かけられて楽しかったと話され、Mさんがひまわりを間近くで見て「大きいなあ」と驚かれたりしていました。参加者全員があたり一面のひまわりを見て感動され喜ばれておりました。

■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・仙台七夕まつりに合わせて、2回目の七夕飾り作りを行っています。今回は、吹き流しを利用者さんと職員とで一緒に賑やかに作りました。花紙で沢山の飾りを利用者さんに作って頂きました。会話の中からは、「何を作るの」「これで七夕飾り作るの」と言ったような半信半疑の様子で作業をみなさんで続けられていましたが完成が近づくにつれ、みなさん「見たことあるわ」や「これは知ってる」と言った感想が聞こえてきました。

みなさんで作った吹き流しの完成品は、廊下やホール内に飾り、みなさんで眺めながら楽しみ、七夕気分を再度感じて頂きました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・6日、以前来られた、たこやき屋さんが再度来て下さいました。その夜、いちいの敷地内で花火をしました。今年も町内会の夏祭りは中止。いつもならば、お祭りに向かう人たちの賑やかな声が聞こえる頃で少し寂しいですが、いちいの風は今年も変わらずに、夏の風情を楽しめたことに感謝いたします。

■さくらデイサービスセンター：星恵美子さん

・6日に中途採用された職員の研修がありました。3名の職員が参加し、研修終了後に各自に感想をお聞きしました。「理念と社是をしっかりと説明を受け、これからもご利用者さんにしっかりと聞きながら関わりたいと思います。」「権理は誰にでも当たり前にあるということ、大切なことだと分かりました。権理をしっかりと守らなければと思いました」等、新たな決意も聞かれました。今回研修を受けた職員ばかりではなく、他の職員も新たに理念と社是を頭と心に入れていきたいと襟を正していこうと思いました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・仙台七夕も2年ぶりの開催。今年は車窓からとなりましたが、荒町商店街の七夕を観にお出掛けしました。お年寄りからは「ゆづるの皆さんに連れて行ってもらったのよ。街に出掛けたのも久しぶりでした。七夕とっても良かったわ」と話され大変喜ばれておりました。

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・3日、志津川高校の学生さんが見学に来られる。4日、一関第二高校の学生さんが2名見学に来られました。仙台に来たのは初めてということで、天候に恵まれたこともあり、青葉城へ外出。ご利用者3名、学生さん2名、スタッフ2名にて外出行う。仙台の街並みを一望して頂きながら、高齢者との関わりを肌で感じて頂きました。5日、2階ユニットの夏祭りを実施。ご利用者から要望の多かったお好み焼き、きゅうりの漬物、焼き鶏を準備し調理を行いました。雰囲気や味付け、盛り付けの華やかさから、普段以上に食欲が湧き立ったようで皆様完食されていました。昼食後は綿あめ、チョコバナナ、カキ氷をおやつに召し上がって頂く。特に綿あめがとにかく好評で、ゆっくりと割りばしを回して形作りながら、やはりご自身で調理したことで味わい深く、一層満足されていたご様子。最期にスタッフの安達君枝さんによるオリンピックにちなんだイリュージョンショー。スタッフ1人1人の得意な事、長所が発揮された夏祭りの内容にご利用者の皆様も楽しんで頂けたようでした。

■介護老人保健施設いずみの杜：鈴木篤史さん

・利用者さんから「どこか行きたいわ」というお話を聞き、「夏らしく景色のキレイなひまわりの丘はどう」という意見に「賛成！」さっそく行ってきました。しかし向かう途中からあいにくの曇り空、雨まで降ってきてしまいました。

しかし、到着し利用者さんからの第一声が「ありがとう。きれいね。」という優しい言葉でした。申し訳ない思いと利用者さんの心の優しさを感じさせて頂き、次は必ず喜んで頂けるようなイベントにしたいと強く思いました。



**【8月9日～8月15日】**

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・職員から大きいスイカを頂きましたので、利用されている方と一緒に切り方を行い美味しく頂きました。

利用されている方々、普段召し上がる時に見せない大きい口を開けて美味しそうに食べられていたのが印象的でした。また一つ夏の季節を感じられた、ひと時でした。

・デイホームでの夏祭りを来週行う予定でいます。少しでも「お祭り」の雰囲気を味わって頂きたいと思い職員全員で協力しながら準備を進めていますが、職員だけではなく利用されている方々と一緒に作業や準備をされており、「夏祭り」の看板が完成しました。



■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・「お花がとっても好きな入居者さんと一緒に眺めていたいと思って～」と、佐藤理佳さんが蓮の花をけやきの中庭に持って来て下さいました。入居者のみなさんは、「見事だね～」「こんなに大きい花見たことないね～」と瞳をまん丸にして喜ばれていました。お花が大好きなSさんは「今度はアサガオがいっぱい咲くよ～。つぼみが膨らんできたからもうすぐだ～」と、寒さに耐えながらも花開く準備をされているアサガオを優しく紹介して下さっています。「楽しみがあるのはいいよ～。気持ちが若くなるから健康にもいいんだ～」と話される言葉に、人生の重みを感じた瞬間でした。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・ゆかりの杜をご利用されていたYさんがご逝去されました。7月末より喘息治療の為ため入院し、治療は終わっていたものの、食欲低下があり退院させられないとの判断で入院が長引いていました。入院中の様子はほとんど教えてもらえず、奥様は自宅に帰り自分が作ったご飯なら食べてくれるのではないかと思っている、先生に退院をお願いしてみようと思うと話されていた矢先の事でした。ゆかりの杜の職員も退院後は筋力低下があるかもしれないが、2人で送迎に行けば大丈夫ではないか、戻ってくることばかり考えていた為、とてもやりきれない思いになりました。奥様は驚きましたと話されながらも涙声になることも無く、気丈に「Yはゆかりの杜に行けて幸せだったと思います。感謝しかありません」と挨拶して下さいました。渡す事が出来なかった7月のフォトレターに短冊を書くYさんが写っていました。健康を願われたと職員から聞きましたが、その願いが届くことはありませんでした。本当は何を願われていたのか、病院のベットで何を望まれていたのか、亡くなった今答えは聞けませんが、奥様のご飯が食べたかったのではないか、家族の顔が見たかったのではないか。何となく感じるご家族の後悔の想い、言葉になることのなかったご本人の想いを考えると今はただただ、辛さで胸がいっぱいになります。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・学校が夏休みに入ってから、小５・小３の娘二人と出勤しています。今回初めて利用するので、１日ちゃんといられるか？心配でしたが、あっという間に利用者さんの名前も覚え、お茶配りや、手の消毒、送迎の見送り、その他食器洗い、掃除、洗濯…と想像以上に子供達も積極的、かつ楽しんで取り組んでいます。その様子を毎日利用者さんは「可愛いね～」「一生懸命働いてお利口さんだ」「ありがとう」などといつもの倍の笑顔で目を細めて声を掛けてくれるＴさん達。朝の見送りも、子供達には何度も何度も自分から手を振るＹさん。「あ～よしよし」等と笑って子供達の体をニコニコさするＹさん。子供達が書いた献立を見て、以前の仕事を思い出したのか久しぶりに「献立…」と言って、また自ら書き始めたＹさん。時には、1時間以上子供達と一緒に献立表とホワイトボードをにらめっこしながら、「なんて書くの？」「すのものです」等とやりとりしながら、書いては消しを繰り返し一生懸命な姿がありました。職員にはなかなか笑顔をみせないｋさんも子供達と目が合うとニコッと笑ったり、時には一緒に声を出して笑いながらサンドイッチマンのコントを見たり、ｋさんから子供達に優しい表情で話かけてくれたり…。私も職員も、「子供の力って凄いな。子供がいるだけで、雰囲気が明るくなるね」等と実感する日々です。子供達も、言葉遣いなどには気を付けていて「〇〇さん、食器下げていいですか？」「もう食べないんですか？」「飲み物はあったかいのと、冷たいのどっちがいいですか？」など、親の私が聞いたこともない丁寧な言葉で話掛けています。この夏休み、普段経験できない事を子供達は経験し「ななみちゃんで働くの大好き」と言っています。現場の職員も子供達に良くしてくれて本当に助かっています。

■介護老人保健施設いずみの杜：鈴木篤史さん

・9日に２階ユニットでパンケーキ作りを行いました。KさんとNさんに粉をかき混ぜる作業を一緒に行って頂きホールでホットプレートで作りました。その後利用者さんとスタッフで美味しく頂きました。夕飯前にお腹いっぱいになる方もおり「美味しかったからいいさ」とNさんがお話されていました。

・12日に３階ユニットでスイカ割りを行いました。スイカに似顔絵を描くと皆さん笑いながら棒を振られていました。中々すっかり割ることは難しかったのですが、スイカ割りを終えるとSさんとNさんが上手に包丁で切り２階ユニットにも越訴分けして皆で美味しく頂きました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・七夕の吹き流し作りを皆さんと行いました。また、短冊には皆さんの願い事が沢山こめられているのが印象的でした。「お星さまのように明るい世界、日本にお願いします」これから予定している夏祭りを楽しみにしています。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・13日お盆入りの日の朝、仙台でお盆に食べる《おくずがけ》を朝食につくりました。仙南では食べた事がないと皆さん話されておりましたが「具だくさんで美味しいですね」と食べらていました。15日スタッフの勤務の都合で今年のお盆はおはぎ作り等が難しいかと思っていたところ、スタッフが「旦那様が位牌を持って来られている方もいるし、ずんだも作ったものがあるし、おはぎを作ってお供えしておやつに食べてます」と話してくれました。ご利用者の気持ちを自ら感じて行動に移してくれています。

■グループホームかぐらの杜：野本麻未さん

・かぐらの杜では夏祭りに向けて各ユニットで着々と準備が進んでいます。吹き流しづくりでは「学生ぶりに花なんて作ったわ！」「私もやりたい！」「仙台の七夕行けないからここで豪華にしよう！」と皆様協力して下さり、現在４個の吹き流しが完成し、各ユニットや２階の踊り場に飾っています。

・１階えにしユニットでは15日にお誕生日のご利用者様の誕生日会を行い、ケーキと手作りの色紙でお祝いさせて頂きました。コロナウイルス感染予防の為、ご家族様とは窓ごしの面会となってしまいましたが、お花をご持参して下さり大変喜ばれておりました。

■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・16日午後の時間を利用し利用者さん８名と職員3名で三本木のひまわりの丘に出かけてきました。参加された利用者さんと職員2名は、今回初めてひまわりの丘に来たので、沢山のひまわりを見て驚いていました。当日の天気が雨降りだったのが残念でしたが、それでも、車内から見える沢山のひまわりを見てみなさん喜ばれていました。今年は終了になるので来年は、数回に分けてより多くの利用者さんをご案内出来るように計画を立てて実施したいと思います。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・おはぎ作りを行いました。ごま、きなこ、あんこの三種類を作り、お昼の時間に皆さんで頂きました。何名かのご利用者はおかわりをし、お腹いっぱいになり満足していただけたと思います。ご利用者からは「うまいね」、「久しぶりに食べたよ」と声を頂いております。温暖さがあるので、体調に気を付けながら過ごしていきます。

■さくらデイサービスセンター：星恵美子さん

・13日14日15日の3日間のイベントで縁日を開催しました。屋台風に焼きそばとたこ焼きや駄菓子を準備し、ご利用者さんに好きなものを召し上がって頂きました。午後は職員による皿回しなどのかくし芸、そして見せ場は3日間違う踊りを踊りました。ソーラン節、花笠音頭、スズメ踊りとかっこよく決めました。ご利用者の方々からも大拍手を頂き、ご利用者さんと職員も笑顔で締めくくることが出来ました。アンコールを頂き、2回踊ると中には足がフラフラ状態の転倒注意の職員がおりました(>\_<)

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・12、13日に「縁日イベント」を行いました。かき氷とフライドポテトの予定でしたが気温が低く、フライドポテトやポップコーン、ベビーカステラなど皆さんと一緒に調理しました。Sさん宅より頂いた梅で梅シロップを作っており、梅サイダーもお出しすると「美味しい！」と大好評でした。これからまた気温が高くなる日が戻る予定です。かき氷はその日までのお楽しみにしたいと思います。

■杜の家ゆめみ：佐藤貴彦さん

・15日に誕生日を迎えたご利用者さんがいます。この方は「今日は19歳の誕生日」と笑顔で話されていました。実際は昭和2年の生まれです。元気の秘訣をお伺いすると、「ゆめみさんに来て沢山話す事。家に居ても誰とも話さないからね。だから余計にここに来ると話すのよね」と、ここでも笑いながら話されていました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・ご家族さんより尾花沢スイカを頂いたので、急遽、スイカ割りを行いました。お年寄りが目隠しをし、みんなで「右、左、前」など声を掛け合い夏の風情を楽しみました。あま～いスイカを大きい口を開け食べているお年寄りの皆さんは自然と笑顔になっておられました。ある方はスイカの赤い部分が無くなるまで綺麗に食べておられ「スイカの生産者さんも大喜びだね」とみんなで大笑いしました。

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・10日の昼食はみなさんでお好み焼き作りをされていました。粉を練る方、焼き具合を確認する方、味見をする方等、それぞれが役割分担して美味しく出来上がっていたようです。

■ゆかりの樹：犬飼裕美さん

・今週は、入所が決まっているTさんの最後のご利用でした。いつもその場の雰囲気を明るくしてくれるTさんは、皆さんとお話しするのが大好きで、その日もいつものように宝塚に通った時の話や海外旅行した時の話しを楽しそうにされていました。その会話の中で「私ね、ここが一番好き」と満面の笑みで最後のご利用を過ごされました。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・13日にゆづるミーティングを行いました。その際に、先月のユニットミーティングで課題としてあがった記録の書き方についての勉強会を行いました。ポイントをおさえた記録を書くことで、ケアの質の向上にもつながっていくと思います。少しずつでも向上していけたらと思います。宮城県内の感染者が増えてきているので、水際対策をしっかりと行いながら過ごしていきたいと思います。

**【8月16日～8月22日】**

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・夏祭りを行いました。今回の夏祭りの為に、装飾は利用されている方と一緒に作り当日を楽しみにされていました。当日は、外でバーベキューコンロで「焼き鳥」の焼き方をしたり、ホールでは「焼きそば」を作ったりと利用されている方と一緒に調理して楽しみました。午後からは、ビンゴ大会を行い、皆さん我こそが一番先にと言わんばかりの眼差しと姿勢も前のめりにしながら番号を聞かれ楽しまれていました。景品を貰うととっびきりの笑顔をお一人ひとりされ、その笑顔に職員も癒されながら職員・利用されている方々、一人ひとりの物語へと刻み込まれたように感じた一日でした。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・ゆかりの杜をご利用されている方の中で、最高齢の方が96歳の誕生日を迎えられました。ご本人は大のあんこ好きで「あんこだったら何でもいい！」と昼食の残ったご飯を活用し、おはぎを作り皆さんで食べました。「いいなあ、一番だ」と喜んで頂きました。朝のお出迎えの際に「おはようございます。今日もお元気ですか？」とお声を掛けると「俺元気じゃなきゃ死んじゃうよ」と恒例の挨拶となっております。コロナ感染者が増え続けている現状ですが、この当たり前の毎日を守りたいと思います。

■介護老人保健施設いずみの杜：鈴木篤史さん

・18日に両ユニット合同で夏祭りを開催しました。日中はたこ焼きをスタッフ、ご利用者で一緒に焼きかなりの数のたこ焼きが完成しました。利用者とスタッフでは食べきれない程の量でした。その後におやつ作りでクレープを作って食べました。フルーツと生クリームの甘いクレープと中にウインナーとチーズにケチャップを入れた洋風の物もありとても好評でスタッフも一緒に美味しく頂きました。この時にスタッフと数名のご利用者に浴衣に着替えて頂き夏祭りの雰囲気から楽しんで頂くことも出来ました。夕方からは外で花火も行いました。当日まで天気予報も雨で正直厳しいかなと諦めていましたが、運よく天気にも恵まれ無事開催することが出来ました。線香花火、手持ち花火、吹き出し花火とご利用者、スタッフ共に楽しく行うことが出来て、他職種のご協力もあり無事に開催することが出来ました。いずみの杜全体で夏の風物詩を感じる１日でした。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・天候が悪かったこともあり、屋内ですごすことが多かったようです。高校野球を観戦する方、オセロを楽しむ方、それぞれ思い思いに過ごされています。

・自分が右足の肉離れで負傷し、しばらく車椅子を使わせていただきました。人員が少ない中、動けない状況…。非常に申し訳なく、情けなく思いながらいました。でも、出勤すれば、「どうなの？あら、この前よりも腫れが引いたね」「無理しないで、良くなるまではね」といつもご利用者さんが声をかけて下さいます。「いいですから、やりますから！」「まだ車いすに乗って下さい！」と何かしようものなら、すぐにヘルプして下さる職員の皆さん、ありがたく思っています。

■グループホームめぶきの杜：小山匡信さん

・19日に夏祭りを行いました。実施まで入居者の皆さんと設えを一緒に作成したり、当日の食べ物や内容などを考え楽しみにされている方が多くおりました。当日は職員と一緒に会場の準備や食事等の配膳も手伝ってくださりとても有意義な時間を楽しく過ごすことができました。夏祭り後は「また来年は違うことして楽しみたいね」と話してくださる方もおり、今年はコロナ禍でフロアが別々になってしましたが、またいつか両フロア合同でイベントを企画していきたいと思いました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・19日夏祭りを行いました。企画の段階で何がしたいか伺うと「外で食べるのもいいね」と。BBQと流しそうめんを外でしました。「たまにこうして外も良いね」と山盛り取ったそうめんを頬張りながら話していました。夜は花火。Hさんがやってみたいと線香花火をしました。“花火”と言う歌を自然と皆さんで口ずさんでいました。

・19日はHさんの21日はSさんの94歳の誕生日。Hさんへ何が食べたいか伺うと「特に何もないけど、昔おしげ寿司って常連で食べててね」と話があり、何年も前でしたが調べてみると代替えをしていましたが、やっていました。電話で相談し、握りを注文。当日離れて顔を合わせ受け取り食べました。

■杜の家ゆめみ：佐藤貴彦さん

・夏の高校野球が行われており、各県の代表の出ていることもあり、会話の中で自然とお国言葉の話になっています。その中で、「はらちゃ」「はらくつ」「はらくっつい」と言葉が出ています。お腹いっぱいという意味ですが、言い方が違うもんだねとお互いに顔を見合わせ、感心したり笑ったり懐かしがったりと話題が広がっていました。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・暑い日もあり、手作りレモネードを皆さんで頂きました。「うまいな」「飲みやすくていいよ」と声を頂いております。午後からはおやつ作りをしたり、ご利用者の声を大切にしながら、職員が考えて行っております。職員の皆さん、いつもありがとうございます。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・夏祭り週間で綿あめやかき氷、ヨーヨーすくいやスイカ割など、日替わりで皆様に楽しんで頂きました。『久しぶりに氷すい食べた～。おいしかった～』『私スイカ好きなのー』と４切れ召し上がった方もおりました。地域の夏祭りも開催されない状況ですが、少しでも雰囲気や夏の味わいを感じて頂けたかと思います。

・またゴルフが得意なMさんにスイングをレクチャー頂きました。コロナの状況を見ながらではありますが、今後はゴルフ練習場(打ちっぱなし)に行く計画を立てております。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・雨の日が続いたこともあり、畑に雑草がたくさん生えてしまいましたが、草取りの日を決めて、畑の整備を行っています。今年はミニトマト、ピーマンがたくさん採れています。かぼちゃも去年は2つだけでしたが、すでに３つ収穫でき、去年を超えることが出来ました。利用者さんにアドバイスを頂きながら、育てておいしくいただく楽しみを続けていきたいと思います。

■さくらデイサービスセンター：星恵美子さん

・16日から新規でご利用された男性ご利用者さんから、契約時にウオーターベッドを体験したかったと話があったので、早速初回ご利用時に体験して頂きました。事前に「何分やれるの」と質問があり、15分出来ることを伝えていました。ウオーターベッドを体験され戻ってきたときに、マスク越しでしたがにこにことした目で車イスからイスに移って頂いたときは安定された動きでした。これからも継続したいとご希望がありました。

**【8月23日～8月29日】**

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・珍しく、Iさんが台所に立ち「男の料理」を披露して下さり皆さんと美味しく頂きました。Iさんにお礼を言うとニコッと笑い照れていました。

・7月から、こども園佐々木さんがデイホームにお手伝いに来られ1ヵ月が立ちました。利用されている方々との関わりも積極的で関係性を築きあげています。佐々木さんの得意な手作業を利用されている方々と一緒に行いながら笑いが絶えず、その一瞬一瞬を楽しまれております。写真は、散歩した時の一枚です。

■介護老人保健施設いずみの杜：荒木卓也さん

・長年利用されている方が体調を崩され命に危険が近づいていると医師から報告を頂くということがありました。元気に歩かれ「お久しぶりね、あんたバカでしょ？（冗談）」等とお話しをしていた頃をふと思い出し寂しくなりご本人の側に寄り添っていました。旦那さんも面会が行えていた頃は毎週のように来られ返事がなくても話かけ寄り添っておりました。スタッフの皆さんも寄り添い今出来ることを考え、たくさん話かけておりました。そんな皆さんの想いが通じたのか少しずつ調子を取り戻し、先日はなじみのスタッフに少しお話して下さったこともありました。大切な人といつお別れになるか分からない。コロナの影響もあり、なかなか会えない状況が続きますが水際対策・感染対策を行い少しでも寄り添っていられるようにしたいと思いました。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・けやきの畑から、朝一でナス４本を収穫してきてくださったＹさん。「立派な長いナスですね～」と声を掛けると、「長ナスっていう品種なんだよ～。」と笑顔で教えて下さいました。早速、朝食のお味噌汁に入れて提供すると、「あら～柔らかくて美味しいナスだごだ～」とみなさん喜ばれて召し上がっております。一番喜ばれていたのは、収穫して来てくださったYさん。Yさんの笑顔は本当にステキでした。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・先月末より皆さんとキッズパートナーで作成していたお神輿を完成させ、ささやかながら夏祭りを開催しました。換気は全開。「ワッショイ！ワッショイ！」大漁歌いこみや、炭坑節の歌に合わせてホールを練り歩きました。掃除が大変と承知の上で紙吹雪をまき散らし・・・ご利用者の皆さんからは「うわー、凄いね！キレイキレイ」と溢れる笑顔が見られました。頂き物のスイカでスイカ割りをし、もうすぐ終わるであろう夏の終わりを皆さんで楽しみました。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・ご利用者のKさん、苛々はほぼなくなり、穏やかに過ごされています。食事が進まず、好きなラーメンを出してみると「美味しい！」と何度も話し、フーフーしながらほぼ完食されました。翌日には卵の入ったうーめんを出すとこれまた「美味しい！」と笑顔でやはりほぼ完食しました。おかずはやはり進みませんが、色々食べてくれる物を探して提供しています。また、部屋で過ごす事が多かったのですが、訪室するともっと一緒にいて欲しいような雰囲気を感じておりました。しかしホールの席へ案内するとすぐ部屋に戻ってしまう事が多くありました。Kさんの中で他のご利用者と一緒があまり好きではない様子はあり、けど一人は寂しい（職員を追ってくる事もあり）というような感じだったので、台所のカウンターを席に変更してみました。すると、朝にそこへ案内してからはほぼ１日中部屋に戻る事なく過ごされ、職員の声掛けに笑顔があったり台所にいる職員と目が合うとニコッとしたり。利用者さんと一緒より、職員と一緒にいる事の方がご本人の中ではいいようです。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・「田んぼを見に行きたい」とのことで急きょ28日に松森方面へドライブに出掛けてきました。車から降車せず車窓からうつりゆく景色を堪能いたしました「空が青くて白い雲」。稲穂を見ながら「今年は豊作だ」と笑顔があふれていました。

■杜の家ゆめみ：佐藤貴彦さん

・デイサービス時、夏祭りの雰囲気を感じていただこうと、いつもと雰囲気を変えて、夏祭りの雰囲気で1日を過ごしていただきました。金魚すくいならぬ、金魚風船すくい。ホットプレートを使用して、屋台風でのお食事の提供。スイカ割り等々。皆さんマスク越しではありますが、顔の表情から楽しんで頂けている様子が見受けられました。担当した職員さん達は、コロナ感染防止の対応は細心の注意を払いながら楽しんで頂けるように考えて実行されていました。ご利用者の方からも「コロナでなにも出来ないけど、今日は楽しかったです」とお言葉を頂きました。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・26日に夏祭りのイベントを行いました。昼食メニューも夏祭りを感じていただけるメニューを考え、ご利用者にお手伝いを頂きながら作りました。午後からはスイカ割りを行いました。「イベントは楽しいね」、「またやりたいね」などご利用者からお声を頂いております。コロナ対策を行いながらイベントを今後も行っていきます。職員の皆さん、ありがとうございました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・25日スタッフ手作りのカードで絵合わせをしました。「合わせるだけなら簡単だね」とどこに何があるのか集中し行っていました。一枚絵が合うと「おー」と。合わないと「あー残念おしいね」と。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・25日縁日を行いました。一緒に作った金魚すくい、的あてや水ヨーヨーなどを周り、かき氷で一休み。昼食には、焼きそば、たこ焼き、フルーツなどを美味しく頂きました。皆さん、懐かしいものに、自然と笑顔が見られていました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・27日にOさんが外来駐車場の草刈りをしてくださいました。こちらからの依頼ではなく、Oさん自ら行ってくださっています。「今年最後の草取りだ」とはたけも一緒にされております。

・Uさんのご自宅でとれたスイカを頂きました。2つ頂き、Sさん、Uさんが切って下さり、「今年初めてだ」「スイカ大好き」と昼食と一緒に皆さんで頂きました。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤恵美子さん

・大地・草原ユニット稲穂・清流ユニット各夏祭りを行いました。数日前から飾りつけを行い、夏祭り開催の看板が設置され当日までわくわくした気持ちで利用者さん職員も当日を迎えられていました。当日は感染対策をしっかり行って笑いのある夏祭りで楽しまれていました。「楽しかったよ～」と景品を見せて下さり利用者さん。事前準備から当日の進行と盛り上げ等頑張ってくれた職員に感謝です。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・24日にご当地対決として仙台冷やし中華VS山形の肉そば選択食でした。結果は皆様地元の冷やし中華を希望される方が多かったです。「美味しかった～量が多いね～」と一緒についていたおはぎも「最高！」と皆さまぺろりと召し上がられました。今後もコロナウイルス感染対策をしっかりと行っていきたいと思います。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・29日入居者さんの誕生日会を実施しています。誕生者のリクエストでとんかつをメインにケーキも自分でデコレーションしたいとのことで作って皆さんと召し上がられています。大変喜ばれていたようです。

■さくらデイサービスセンター：星恵美子さん

・23日に職員のミーティングを行いました。テーマはご利用者の必要な配慮の確認と共有です。目のご不自由なご利用者の方がなぜ和室まで昔は昼寝をされていたが、今はホールのソファーで横になるようになったのか？相性の悪いご利用者同士の席の配置、昼寝をされる方の中でどこのベッドが本人は好んでいるのか？等職員で再確認ができました。一人ひとりのご利用者の居心地のいい居場所を考えるきっかけにもなりました。

■グループホームかぐらの杜：野本麻未さん

・24日に夏祭りを行っています。杜の家かぐらと合同にて行う予定でしたが、レベルが上がったことにより、ユニット交流は行わずに実施しています。それぞれのユニットにて、輪投げ、魚釣りゲームを準備して皆さんで行っています。皆さん他利用者さんが輪投げを投げて点数が入ると「がんばれ」「やったー」と応援しながら大盛り上がりでした。昼食は、夏祭りならではの、焼きそば、焼鳥、枝豆、とうもろこしのメニューを準備。ノンアルコールビールやカクテルなどを飲まれ、「久しぶりに飲んでみようかな」とノンアルコールビールではありましたが「美味しい」と食事も進んでいました。ユニットを超えた交流は行えない状況ですが、来月以降も利用者さんに楽しんでいただけるイベントを企画していきたいと思います。

**【8月30日～９月5日】**

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・デイホームでは、15時30分頃からテーブルの消毒や洗い物などを職員・利用されている方で分担しながら一緒に行っています。お一人ひとりに合った役割があり一人ひとりが時間になると率先して行っています。職員が忘れていると、ご利用の方から「テーブルは今日やらないの？」など声を掛けて頂く事もあり、改めて役割の重要性などを感じています。

・与兵衛沼公園に行ってきました。秋を漂わせる涼しい風を浴びながら、女子トークや四葉のクローバーを探しや沼を眺めたり散歩したりと利用されている方と職員共に穏やかな時間を過ごす事が出来ました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・31日。入職して間もない看護師の方と、いつもご利用をお断りされてしまう方の所へ一緒にお迎えにあがりました。先週は「もう、ばあさんも兄弟もすぐそこまで迎えにきている。私が行くのはあの世しかない」と出掛けようとはされませんでした。「心配で顔を見に来ました」とお声を掛けると嬉しそうな表情が見られます。いつも生まれがどこか、生い立ち、いろんなことを話してくださいます。独居で話し相手もおらず、本当は淋しいのではないかと思います。看護師の方が「体もだけど、今日初めて会って○○さんの事をたくさん教えて頂きたいんです。ゆっくり聞かせてくれませんか」と声を掛けてくださると「よし！行くか」といつもは重い腰が持ち上がりました。いつも話して下さる話を楽しそうに話される様子が見られました。その日のはぐくみノートには「今日はご利用者との関りを通して仕事に参加できた（輪の中に入れた）気持ちになり嬉しかった」と書かれておりました。まずはその人知ることから始める。対話から関わりを深めてほしいと思いました。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・連日のパラリンピックを、ご入居者のみなさんは熱心に応援されており「この舞台に立つまでどんな過酷なトイレ―ニングをしてきたんでしょうね～。オリンピックを目指す気持ちからして強いんだな～。わたしも膝の痛さに泣いてられないな～」とつぶやいていたＲさん。誰かの頑張りをみて自身を振り返るＲさんを拝見し、90歳を過ぎていらっしてもそれぞれの生き方に感動し、自身を鼓舞するＲさんの気持ちの強さに私自身勇気付けられました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・Kさん30日入居されています。いずみの杜の働くデイで草取りに参加されていました。31日いつものようにお出かけされています。帰宅後は疲れたと話されていましたがいい表情でした。少しずつここでの生活に慣れていただきながら、これまでと同じ生活が継続できるよう対話をとおし一緒に考えていきたいと思います。

■杜の家ゆめみ：佐藤貴彦さん

・室内で過ごす時間も多くなっている昨今、最近のやり取りの中で「しじゃかぶ」という言葉が聞かれています。「ひざが痛くてね。しっかりしなさいと気合を入れているんだけどね。「ひざかぶじゃなくて、しじゃかぶね。しじゃかぶ」。それを聞いている周りの方も笑ってきいている姿も見られ、その方も「私もしじゃかぶ痛くて」「でもやらないと好きなこともできないから」と笑って話したりもしています。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・おやつの時間にスイカを頂きました。ご利用者からは「甘くて美味しいね」、「大きなスイカだね」とおやつの時間を一人一人楽しまれております。緊急事態宣言が出ている中ですが、いままでのコロナ水際対策をしっかり行いながら、共に働く職員と一緒にご利用者との関わりを大切に行っていきます。

■杜の家ふたば：平澤文さん

・9/4に畑で採れた野菜で天ぷらを作っています。特養の利用者さんにもおすそ分けして喜ばれておりました。

■グループホームはごうの杜：名取直保美さん

・Yさん8/31にご主人様が自宅で亡くなったとの報告を娘さんから受け、岩尾GMに確認し、短時間なら人が少ない時間帯にご主人様に会いに行ってもよいとの許可を頂き、ご本人も会いたいとのお話でしたので、葬儀場に会いにいってきました。Yさんにご主人様が亡くなった事をお伝えしてから、しばらくの期間、沈んだ様子ありましたが、最近ようやく笑い顔も見られるようになりました。

■介護老人保健施設いずみの杜：鈴木篤史さん

・29日に利用者さん３名、スタッフ２名で松島までドライブに行ってきました。普段はあまり外出されない方をお誘いすると「行きます」と話されたので一緒にお出掛けしました。コロナの警戒レベルもあり、車から降りて屋内に行くことは難しいので車内から景色を眺めることを楽しんで頂きました。人が少ない海沿いで「出会い橋」で有名な赤い橋を背景に記念撮影をしてきました。

■さくらデイサービスセンター：星恵美子さん

・9/1より中途採用の職員さんが出勤されています。ご利用者に挨拶している姿がとても初々しく、「自分もあんな時があったんだよね！新鮮だねぇ！」と温かい眼差しで見守っている他の中堅の職員。何事も初心を忘れずにご利用者と一日一日を大切に過ごしていきたいと改めて感じました。

・職員の休憩に使わせて頂いている和室の扉のレールが渋くて扉の開閉が出来ないので、ⅮⅠYの得意なご利用者さんに直していただきました。メチャクチャスムーズに開閉できています（\*^\_^\*）

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤恵美子さん

・岬渚ユニットの夏祭りが開催されました。スイカ割りが盛り上がり、棒でスイカの場所を確認してから割るという斬新なスイカ割など笑いあふれる夏祭りでした。浴衣を着て楽しまれる利用者さんもおりました。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・入居者さん３名の髪をカットさせていただいています。お一人と思っていましたが、「上手だから私のも切って。ちょっと気になるから」等、声がかかり切らせていただいています。皆さんから喜びの声が聞かれ嬉しく思います。「みんなから、可愛くなったって言われちゃって」と、今日も喜びの声が聞かれています。

■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・9/20敬老の日に向けて、利用者さんと一緒にお祝いの会で使用する設えの準備を行ないました。お花紙を使い、飾りようの花を職員と一緒に会話を交えながら和やか雰囲気のなかで、時折笑い声が聞こえてきたりしながら楽しい時間を共有されているようでした。今後も時間を設けて飾り等の準備を行なっていく予定です。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・お年寄りさんとスタッフでお誕生ケーキを手作りしました。お誕生日を皆さんでお祝いし当事者の方も満面の笑みで大変喜ばれておりました。

■ケアハウスいいちいの風：亀澤加代さん

・9月、急に涼しくなり、設えも変わる時期。彼岸花やブドウの飾りものを皆さんで作る時間がありました。皆さん真剣に黙々と作られ、出来上がりを見ては喜ばれていました。また、以前ボランティアで来ていただいたチアリーディングの子供さんたちからＤＶＤとメッセージカードが届きました。お互いにコロナ禍でお会いすることはできないけれども、元気を届けることができれば、と書いてありました。とてもありがたく感じます。ご縁を大切に、皆さんでＤＶＤを楽しみたいと思います。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・皆さんが楽しみにされていた感謝祭と、お寿司イベントが延期となり「残念だわぁ～」との声が多く聞かれておりました。梨狩りにも行きたい！とのお声もあり、職員１名と、その方２名でのお出かけを検討しております。出来る事なら今しかできない事なので実現したいと考えております。

■ショートステイわかなの杜：齋藤匡晴さん

・現在ご利用されている方で中々食事が進まない方がおり、何を食べたいか確認したところ「果物が食べたい」とのお話がありました。職員の実家から送られてきたリンゴがあったため、ご利用されていた皆さんに召し上がって頂きました。普段は食事が進まない方も「これなら食べられる」と笑顔で召し上がっておりました。果物を使ったおやつ作りを現在検討中です。